



AI駆動開発 コンソーシアム

AI-Driven Development Consortium

AI駆動開発コンソーシアム

背景

生成AIの急速な技術進化により、アプリケーションやシステム開発において、生成AIを活用した開発は、今や主流になりつつあります。今後さらに技術が高度化することが予想される中で、生成AIは単なる補助的なツールではなく、『**開発の大前提**』として捉える必要があります。

これまで生成AIの活用が限定的であったエンタープライズシステム開発の領域においても、今後は**生成AIを前提とした開発が不可欠になると**考えられます。しかし、エンタープライズ領域では機能要件が複雑で、品質要件も高度に求められるため、生成AI活用においては多くの技術的・運用的課題を克服する必要があります。また、契約や責任分界などの面においても、生成AIの活用を前提とした新たな設計が求められます。

加えて、日本国内では「2025年の崖」に象徴される**レガシーシステムの問題**が一層深刻化しており、この領域に対しても、生成AIの活用による抜本的な解決アプローチが急務となっています。

この変革期にあって、『**AI駆動開発**』は、生成AIの活用を前提とした新たな開発プロセス・開発スタイルとして位置づけられます。生成AIの進化とAI駆動開発は、従来の開発手法や開発文化のみならず、開発組織やITを活用したビジネスそのものを根本から変革すると予想されます。

このような状況を踏まえ、**企業の枠を越えて、生成AIを前提とした新たな開発スタイル『AI駆動開発』の普及に取り組むことが、日本企業の競争力強化とイノベーション創出を支える基盤として極めて重要になると**考えます。

AI駆動開発コンソーシアム

目的

生成AIを前提とした新たな開発スタイル『AI駆動開発』の啓蒙と知見共有を、企業の枠を越えて実施し、国内企業全体の競争力強化とイノベーション創出に貢献する。

活動方針

1. コンソーシアム参加企業による勉強会の開催
国内企業におけるAI駆動開発の組織的な導入で必要となるノウハウや実践知の共有を行います。
企業内でAI駆動開発を牽引するリーダーに対する戦略的な視点に基づく知見共有と勉強会を行います。
2. エンタープライズシステム開発におけるAI駆動開発の実践や知見を企業間で共有することで、業界全体の生成AI活用レベルの底上げを図ります。
3. 『AI駆動開発カンファレンス』などの勉強会やイベントの開催・啓蒙を通じて、企業間の連携とナレッジの流通を促進し、人材育成とAI駆動開発の普及活動を推進します。
4. 加えて、開発領域における生成AI活用に関する運用面・制度面の課題を整理し、企業・業界・政策レベルに対して具体的な提言を行います。

AI駆動開発コンソーシアム：活動内容

活動内容

1. エンタープライズ領域におけるAI駆動開発 実践と知見共有
2. 『AI駆動開発カンファレンス』等、エンタープライズ向けのAI駆動開発勉強会・イベント実施
3. AI駆動開発のエンタープライズ領域における課題整理と施策提言
4. AI駆動開発の導入推進組織『AIDD CoE』の啓蒙
5. AI駆動開発 導入責任者『CADO』の知見共有

AI駆動開発コンソーシアム：活動内容



AI駆動開発コンソーシアム：活動内容

活動内容

活動内容1

エンタープライズ領域におけるAI駆動開発 実践と知見共有

エンタープライズ領域におけるAI駆動開発の実践事例やノウハウを収集・共有します。企業間での知見交換を通じて、具体的な課題や成功要因を明らかにし、実践的な手法やベストプラクティスの普及を促進します。

また、レガシーシステム問題についても各社の生成AIを活用したマイグレーションの取り組みと課題を共有することで、企業が生成AI活用してレガシーシステム問題と向き合える活動を促進します。

これらの施策を通じて、エンタープライズシステム開発における生成AI活用のレベルアップと業界全体の技術成熟を支援します。

AI駆動開発コンソーシアム：活動内容

活動内容

活動内容2

『AI駆動開発カンファレンス』等、エンタープライズ向けのAI駆動開発勉強会・イベント実施

エンタープライズ領域におけるAI駆動開発の理解促進と実践支援を目的として、企業向けの勉強会やカンファレンス、ミートアップなどのイベントの企画・開催・運営を支援します。

『AI駆動開発カンファレンス』をはじめとしたイベントでは、AI駆動開発に取り組む先進企業による実践事例、最新の技術トレンド、導入プロセス、開発組織変革に関する知見を共有し、企業間での学び合いを促進します。

企業のCTO・CAIO・CADOから現場の開発者・マネージャー層に至るまで、各担当者にとって学びに繋がるテーマ設計を行い、企業全体でのAI駆動開発の理解深化と実践を後押しします。

AI駆動開発コンソーシアム：活動内容

活動内容

活動内容3

AI駆動開発のエンタープライズ領域における課題整理と施策提言

エンタープライズ領域におけるAI駆動開発の本格導入に際し、各企業が直面する共通課題（例：品質保証、セキュリティ、知財リスク、説明責任、既存システムとの整合、人材育成など）を整理・分類します。

これらの課題に対して、運用方針・ルール整備・責任の所在・ナレッジ共有体制といった観点からの実践的な対処策を取りまとめ、企業・業界・政策レベルにおける提言資料として共有します。

また、必要に応じて、このような知見をもとに政府の施策への反映を目指した提言を行い、AI駆動開発の健全な普及と国内企業の生産性向上に貢献します。

AI駆動開発コンソーシアム：活動内容

活動内容

活動内容4

国内企業における AI駆動開発の導入推進組織『AIDD CoE』の啓蒙

活動内容5

上記企業における AI駆動開発 責任者『CADO』の知見共有

1. 本コンソーシアムは、国内企業がAI駆動開発を効果的に導入・展開できるよう、専門組織『AIDD CoE（AI駆動開発推進センター）』の立ち上げを啓蒙します。これにより、企業が変革に対応するための組織体制の構築を促進し、AI駆動開発の実践を加速できるようになります。
2. また、企業内でAI駆動開発を統括する最高責任者『CADO（Chief AI-Driven Development Officer）』に対して、最新の知見や成功事例の共有し、リーダーシップと組織内での推進強化を後押しします。

AI駆動開発コンソーシアム：設立発起人

発起人



荒井 康宏

座長

クリエーションライン株式会社
取締役 兼 最高技術責任者 (CTO)



漆原 茂

副座長

ULSコンサルティング株式会社
取締役会長



鈴木 章太郎

副座長

FPTジャパンホールディングス株式会社
エグゼクティブ エバンジェリスト



大橋 力丈

副座長

クラスメソッド株式会社
取締役 (エンジニアリング組織担当)

AI駆動開発コンソーシアム：設立発起人

発起人



岡澤 克暢

ボード

KDDIアジャイル開発センター株式会社
取締役 VPoE



安次嶺 一功

ボード

株式会社I-Tecnology
取締役 兼 CAIO 兼 CADO



川上 司

ボード

株式会社りゅう
代表取締役会長CEO



平野 和順

ボード

日本マイクロソフト株式会社
クラウド & AI事業本部 クラウドソリューション
事業部 本部長



岡村 匡洋

ボード

株式会社メイク・ア・チェンジ
代表取締役



桜井 賢一

ボード

ULSコンサルティング株式会社
取締役副社長



比毛 寛之

ボード

東京システムハウス株式会社
執行役員事業部長



前川 博志

ボード

ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター
主任技師



松浦 隼人

ボード

オーティファイ株式会社
シニアソリューションズアーキテクト

AI駆動開発コンソーシアム：設立発起人

事務局



川上 司

株式会社りゅう
代表取締役会長CEO

事務局

AI駆動開発コンソーシアム：賛同企業一覧



日本マイクロソフト株式会社

<https://www.microsoft.com/ja-jp/>



FPTジャパンホールディングス

<https://fptsoftware.jp/>



ULSコンサルティング株式会社

<https://www.ulsconsulting.co.jp/>



CREATIONLINE, INC.

クリエーションライン株式会社

<https://www.creationline.com/>



クラスメソッド株式会社

<https://www.coderabbit.ai/>



KDDI Agile Development Center

KDDIアジャイル開発センター株式会社

<https://kddi-agile.com/>

AI駆動開発コンソーシアム：賛同企業一覧



ダイキン工業株式会社

<https://www.daikin.co.jp/tic>



株式会社I-Tecnology

<https://i-tec.jp.com/>



東京システムハウス株式会社

<https://www.tsh-world.co.jp/>



MAKE A CHANGE

株式会社メイク・ア・チェンジ

<https://makeachange.co.jp/corporate/>



オーティファイ株式会社

<https://autify.jp/>



株式会社りゅう

<https://www.rue.co.jp/>

AI駆動開発コンソーシアム：会議体



月1 全体会議

全体会議

運営会議

- 全体会議は月1で定例で実施
(オンサイト、オンライン)
- ボードメンバー会議は年1で実施



テーマ別の分科会

分科会 A

分科会 B

分科会 C

- テーマに応じて分科会を設立
- 分科会長を中心にメンバーが
集まって議論
- 全体会議で分科会活動を共有



イベント



- イベントの運営支援
運営支援については slackでのコ
ミュニケーション
(必要に応じてミーティング実施)